

久留米市総合計画審議会 中間報告について

1. 総合計画審議会及び分科会の開催状況

○第 1 回審議会

期 日	令和 6 年 9 月 1 9 日（木）
会 場	久留米市役所 4 階 4 0 1 会議室
会議内容	・ 諮問 ・ 次期総合計画の策定にあたっての基本方針について ・ 次期総合計画基礎調査について ・ 計画策定過程における市民意見聴取状況について

○第 2 回審議会

期 日	令和 6 年 1 1 月 2 6 日（火）
会 場	職員会館メルクス 3 階 大ホール
会議内容	・ 次期総合計画策定に向けた総括について ・ 次期総合計画基本構想骨子案について

○第 3 回審議会

期 日	令和 7 年 1 月 1 4 日（火）
会 場	久留米市役所 4 階 4 0 1 会議室
会議内容	・ 次期総合計画基本構想素案について ・ 分科会の設置について

○第 1 回分科会

期 日	令和 7 年 2 月 1 0 日（月）（分科会毎に開催）
会 場	久留米市役所 9 階 レクチャールーム
会議内容	・ 次期総合計画基本計画骨子案について

2. 審議会委員からのご意見について

(1) 次期総合計画基本構想（案）に対する意見について

○まちづくりの視点

- ・人口減少を如何に食い止めるかという視点で捉え、どのような戦略性をもって取り組んでいくのかということを盛り込むよう検討されたい。
- ・人口減少を前提としているが、総合計画にどのように反映されていて、これまでの計画とは異なるのか見えにくいいため、より理解しやすいものとなるよう表現を工夫されたい。

○基本目標 1 「安全・安心な暮らしを守る」

- ・医療と保健は、感染症に関することだけでなく、高齢者医療の問題や医療従事者の確保が重要な課題であり、こうした視点を盛り込むよう工夫されたい。

○基本目標 2 「自分らしく輝き続けられる社会をつくる」

- ・「男女共同参画」という表現は、時代にあった表現にするため「ジェンダー平等」という表記に改められたい。
- ・福祉分野において、障害者や認知症高齢者の意思決定支援など高度なケアを求められるようになっていっているので、人材不足の対応だけではなく、質的向上についても検討されたい。

○基本目標 3 「つながり支え合う地域」をつくる

- ・担い手不足があるが、女性の自治会長はまだ 9.1%しかいないうえに、役員全体としても 19.8%しかいない。男女比率が 50%になれば人手不足にはならないはずなので、そういったところを盛り込むよう検討されたい。

○基本目標 4 「未来を創り担うひとを育む」

- ・久留米にしかない魅力を高め広げるために、人づくりの中に「久留米に愛着が持てる育み」といった内容を盛り込まれたい。
- ・まちづくりに関わる人たちの高齢化や地域における関係性の希薄化を踏まえ、どのようにボランティアや社会教育関係団体を育てていくのかを検討されたい。

○基本目標 5 「楽しく心豊かな暮らしを実現する」

- ・文化に触れるだけではなく実際に表現することが重要となるため、このような視点を盛り込まれたい。

○基本目標 6 「魅力ある快適な都市をデザインする」

- ・住みやすいまちにするために、便利な交通体系などを充実していく方向性である

ことは理解するが、現実問題として深刻な人員不足問題も生じている。こうした中で、どのように問題を解決し、公共交通の維持・充実を図っていくのか、具体的な取組を検討されたい。

○基本目標 8 「新たな価値、地域の稼ぐ力を生み出す」

- ・学生の大半が就職で転出するという現実があるので、地域に働く場があり、自分が学んだ技術を活かして、久留米で働くような仕組みを検討されたい。
- ・久留米市は農業が盛んだが、気温が上昇している影響で作物が取れない。今後 10 年間でどのような対策を打っていくのかを取組を検討されたい。
- ・女性や若い世代に魅力的な雇用や、多様な人材が活躍できる労働環境を整備していくために、女性が魅力を感じる企業を誘致するといった経済の視点を含めて検討されたい。

○基本目標 9 「久留米ならではの魅力を高め広げる」

- ・平日の日中の人口と休日の人口など、久留米の魅力をどのように考えていくのかという視点でも検討されたい。
- ・若い世代の中に女性は含まれており、ここをあえて分けているのはそこに意図があると思うので、その意図が分かりやすいよう表現を工夫されたい。

○基本目標 10 「スマートな行財政運営に転換する」

- ・行財政改革は、市民に納得してもらえる説明や啓発が必要であるため、情報の伝達についても検討されたい。

○その他

- ・10 の基本目標を達成するとどのようなまちになるのか、イラストを活用するなど、市民がイメージしやすい計画書を作られるよう工夫されたい。

（２）次期総合計画基本計画（案）に対する意見について

○基本目標１ 安全・安心な暮らしを守る

＜施策 01 災害に対する強靱な地域づくり＞

- ・防災関連の地域の担い手が課題となっているため、その施策を検討されたい。

＜施策 03 健康を守る 保健医療体制の充実＞

- ・現在でも看護師は決定的に足りない状況であるため、医療を支える看護師の確保・育成に対する施策を検討されたい。

○基本目標２ 自分らしく輝き続けられる社会をつくる

＜施策 04 一人ひとりが尊重される 人権意識の確立＞

- ・人権擁護について、外国人が入っていない。例示をどこまでするのか、しないのかを含めて検討されたい。

＜施策 05 自分らしく輝く 男女共同参画社会の実現＞

- ・女性に焦点を当てて、若い女性が地域から出ていかないようなまちづくりをすることが地方創生につながる。地域には差別的な風習も残っており、生きづらさを感じる女性は多いため、ジェンダー平等の推進の視点をもって検討されたい。

＜施策 07 安心して暮らし続けられる 福祉の充実＞

- ・障害者支援において乳児・幼児・学童期・就労支援とぶつ切りの支援となっている。発達段階に応じた個別の切れ目のない支援の視点での取組を検討されたい。
- ・多死社会を迎える局面で、在宅医療という視点は欠かせないが、地域医療ネットワークの構築が不十分である。保健医療・福祉・介護のネットワークの構築、人材の確保や人材教育の充実といった視点での取組を検討されたい。

＜施策 08 地域で支え合う つながりづくりの推進＞

- ・重層的支援体制整備事業のような重なり合う支援の仕組みづくりが必要。「支え合う」だけではなく「叶え合う」という言葉を発信しており、そういった新たな兆しについても盛り込むよう検討されたい。

○基本目標３ つながり支え合う地域をつくる

＜施策 10 地域をともに創る 地域コミュニティの活性化＞

- ・若い人たちは地域に関わりたくないのではなく、世代間の交流を望むものの、どのように参加すればいいのか分からないという側面もある。様々な年齢の人が地域に参加しやすい環境をつくることのできるよう、表現の工夫を検討されたい。
- ・地域コミュニティにおいても女性の登用にしっかりと取り組んでもらえるよう、女性の登用率向上についても、盛り込むよう検討されたい。

＜施策 11 共に暮らすまちを創る 多文化共生の推進＞

- ・外国人に、日本語や慣習、マナーを学ぶ機会の提供とともに、久留米の魅力を伝えながら、互いに互いに許容しあい尊重しあえる文化をつくるシステムの整備を検討されたい。

○基本目標 4 未来を創り担うひとを育む

＜施策 13 安心して子どもを育むことができる環境づくり＞

- ・学童保育では、支援員不足が続いている状況で、現状を踏まえた表現を検討されたい。

＜施策 14 未来につながる 教育環境の充実＞

- ・学校として発達段階に応じた性教育にしっかりと取り組んでほしい。男女平等教育や性教育については遅れているので、盛り込むように検討されたい。

○基本目標 5 楽しく心豊かな暮らしを実現する

＜施策 16 多彩な文化・芸術活動の促進＞

- ・鑑賞機会だけではないので、特化した表現にせず、「文化に触れる」といった表現など検討されたい。

○基本目標 6 魅力ある快適な都市をデザインする

＜施策 19 快適で暮らしやすい魅力的な拠点の形成＞

- ・官民連携に学校も入れた視点での表現など検討されたい。

＜施策 19 快適で暮らしやすい魅力的な拠点の形成＞

- ・まちづくりを官民連携で推進していくために、地場の企業をどのように絡めていくのか、どのようにして他の地域から呼び込んでいくのか、どういう企業をイメージするのか、戦略的に検討されたい。

○基本目標 7 豊かな自然と快適な環境を次世代につなぐ

＜施策 25 自然と多様な生き物が共生する環境づくりの推進＞

- ・環境の分野に耳納連山など久留米市の特徴が出た表現を検討されたい。

○基本目標 8 新たな価値、地域の稼ぐ力を生み出す

＜施策 27 魅力と活力にあふれる農業の推進＞

- ・「魅力と活力にあふれる農業の推進」が漠然としている。「魅力」に加え、九州一の大河筑後川と筑後平野の肥沃な大地のもと、様々な農産物ができていることなどに触れるよう表現を工夫されたい。

○基本目標 9 久留米ならではの魅力を高め広げる

<施策 30 魅力を語りたくなる久留米イメージの創出・PR>

- ・「情報発信」「魅力発信」「インナープロモーション」という言葉が使われているが、具体的に、誰と、どのように、どんなところを創っていくのが大事だと思うので、表現を工夫されたい。
- ・「地域資源を活用した観光ブランディング」は、「久留米ならではの地域資源」など表現を検討されたい。